



みさと 市議会だより

205号

2026年
5月15日号

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関です

令和8年度予算を含む
議案などを慎重審議しました

主な内容

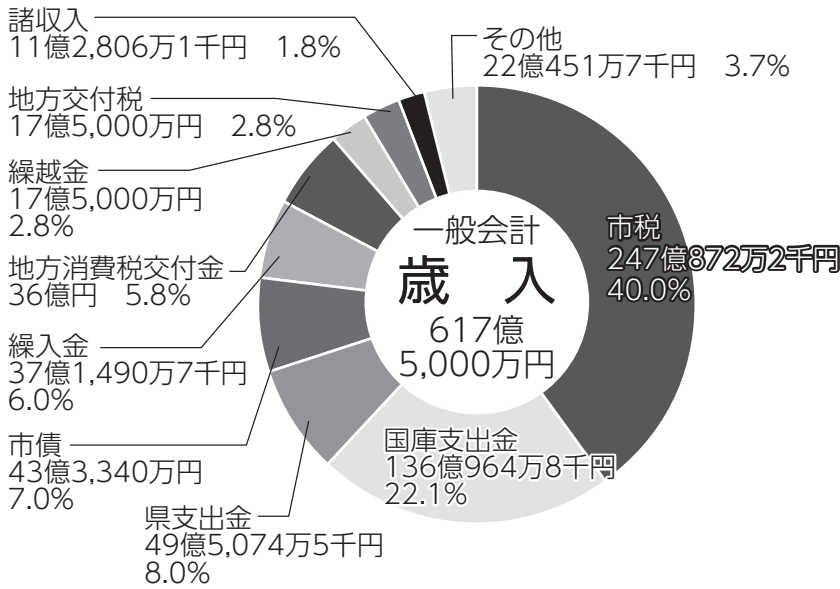
令和8年3月定例会

令和8年度予算を審査	2
論点「持続可能な財政運営に向け 税率を引き上げ」	6
3月定例会提出議案とその結果	7

市政に対する一般質問	8
三郷市議会委員会条例の一部改正 ほか	14
議会あれこれ	15

令和8年度予算を審査

3月定例会では、令和8年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ7億5千万円（1.2%）の減額となる617億5千万円で、平成19年度以来、19年ぶりの前年度比マイナス予算となりました。



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	市が行う特定の事業に対して国から交付されるお金
県 支 出 金	市が行う特定の事業に対して県から交付されるお金
市 債	公共施設の整備などを行うために、市が長期にわたって借入れるお金
繰 入 金	基金や特別会計から一般会計に繰り入れるお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち、三郷市分として交付されるお金
繰 越 金	令和7年度一般会計から繰り越されるお金
地 方 交 付 税	自治体の財政状況に応じて国から交付されるお金
諸 収 入	学校給食納付金、コピー代など
そ の 他	分担金、負担金、地方譲与税など

令和8年度の主な事業

3つの柱

重点テーマ

持続可能な拠点の形成 ~まちづくりは道づくり~

- 令和8年度開館“みんなの防災プラザみさと”
- 大場川上流排水機場増強による効果検証
- つくばエクスプレス三郷中央駅の駅前広場再整備
- 半田彦成跨線道路橋に監視カメラ設置
- 都市計画道路草加三郷線の整備
- 各公共施設の長寿命化等対策

多様性のある地域の確立 ~地域コミュニティの充実~

- ねんりんピック(スポーツチャンバラ交流大会)を開催
- 三郷村70周年記念郷土資料館展示
- 陸上競技場公園照明灯のLED化
- 三郷市ロケーションサービスの取組強化

質の高い教育と切れ目ない 子育て支援の強化

~こどもたちの成長を見守る・夢を育む~

- こども誰でも通園制度の開始
- 官民連携によるプレーパークの推進
- GIGAスクール小・中学校教育用PCを更新整備

令和8年度 施政方針

ふるさと三郷
みんながほほえむまちづくり



三郷市長 木津 雅晟

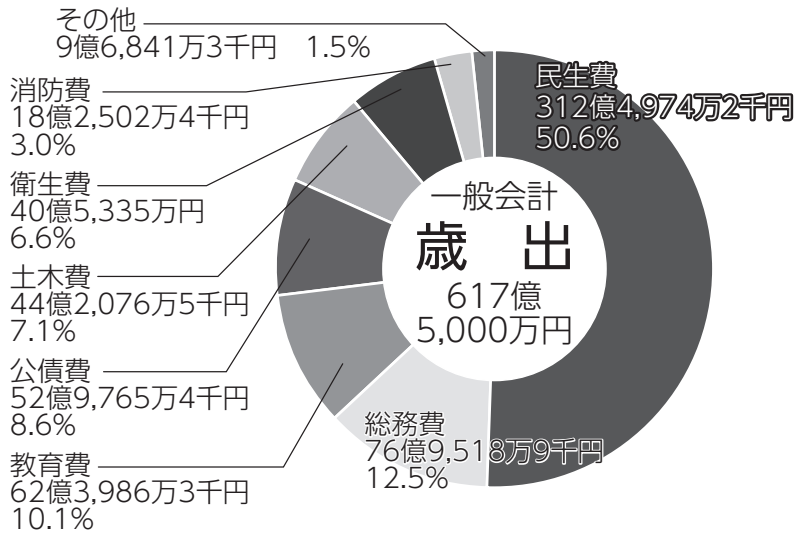
昨年度は、少子高齢化対策として、子育て家庭への支援、高齢者の健康寿命延伸に向けた取組みを積極的に進めるとともに、AIをはじめとするデジタル技術の活用積極的に取り組み、市民サービスの更なる向上や上下水道管路の耐震化など、インフラ老朽化対策を講じ、より一層、安全・安心なまちづくりを進めてまいりました。

一方、社会情勢に目を向けますと、少子高齢化の進展、自然災害の激甚化、物価高騰など、市民生活や事業活動に変化をもたらす事象が数多く存在しております。

新年度におきましては、本市が将来にわたり持続可能な自治体経営を行うために、安全安心を基本とし、市民生活に密着した施策へ重きを置き、展開してまいります。

今後も著しく変化する社会情勢に対し、的確に対応するための施策を積極的に展開するとともに、常にスピード感を持ち、市民感覚と経営感覚を大切にしながら本市の更なる発展に向け、『ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり』を推進してまいります。

※3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



歳出区分	説明
民生費	こども、高齢者、障がい者などへの福祉全般の事業に使うお金
総務費	行政の運営全般に使うお金
教育費	学校運営の費用や公民館、体育施設の管理運営などに使うお金
公債費	市債の償還に使うお金
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
衛生費	予防接種やごみの収集など健康で衛生的な生活のために使うお金
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、農林水産業費、商工費など

令和8年度

特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

【特別会計別予算一覧表】

区分別	予算額
国民健康保険	129億1,352万2千円
介護保険	122億1,485万6千円
後期高齢者医療	27億3,728万8千円
上水道事業*	54億5,284万6千円
公共下水道事業*	70億4,546万1千円

※上下水道事業は収益的収支(維持管理など)と資本的収支(建設改良など)の合計額です。

常任委員会の審査概要

(一般会計)

議案をくわしく審査するために開かれた、各常任委員会での令和8年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

《総務常任委員会》

問 国有資産等所在市町村交付金（現年課税分）の対象施設は。

答 東京都所有物件は三郷浄水場及び三郷沈砂池、埼玉県所有物件は新三郷浄水場並びに三郷鷹野及び三郷

彦成県営住宅、関東財務局所有物件は民間に貸し付けられている土地・建物を指す。

問 男女共同参画相談事業について、第5次みさと男女共同参画プランにおいて目標を達成した取組は。

答 市男性職員の育児休業取得率において目標を達成したため、第6次プランでは、さらなる取得率の向上

を目指し目標値を引き上げた。

問 防災行政無線・防災情報システム運用管理事業について、整備効果は。

答 令和6年度に防災行政無線機器を更新したことで、音が明瞭となったほか、対象区域を絞った防災行政無線の発信、複数のSNSと連携した一斉送信などが可能となり、災害時の情報発信力が向上している。

討論として、「実質賃金のマイナスが続く中、市民の暮らし最優先の施策が求められていると考え反対する」などがありました。

《健康福祉常任委員会》

問 全国健康福祉祭開催準備事業の概要について伺う。

答 全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、令和8年11月8日に開催され、本市ではスポーツチャンバラが



行われる。事業の経費としては、交流大会の開催に係るものが大半を占め、県の補助があり、最終的な市の持ち出しは700万〜800万円程度になる見込みである。

問 民生委員活動推進事業で、令和7年度の充足率と8年度以降の見込みは。また、78歳以上でも1期に限り継続できるようにしたが、その状況は。

答 3年に1回の民生委員の一斉改選が令和7年12月1日にあり、その時点での

人数は187人で、充足率は87・8%であった。今後は4月1日に委嘱する予定のかたが2名いる。また、78歳以上で継続しているかたは現在5名である。

問 産後ケア事業において、新たに助産師による訪問型を行うということであるが、どのような内容か。

答 きょうだいや双子のお子さんがいるなど外出しにくい状況にある家庭が主な対象となり、助産師が訪問し、専門的な支援を行う。内容としては、授乳や沐浴の指導、産後の回復を見込むための骨盤体操などを行う。

討論として、「複数年にわたり継続的に実施されている高齢者への個別的支援事業は、支援の入り口を確保する重要な施策であり、孤立防止や重症化予防の観点からも大きな意義を持つものであり賛成」などがありました。



防災行政無線スピーカー

《文教経済常任委員会》

問 運転免許証自主返納者支援事業について、タク

シー利用券の交付額と交付回数は。また、運転免許証を返納された方々への支援は。

答 タクシー利用券等は、申請時にのみ1万円分交付しているが、令和8年10月1日からは5千円分の交付となる。これは、令和5年度の事業開始から毎年度約500名弱の申請があり、免許返納の後押しとなっている本事業を、今後の免許返納者数の増加を見込み、継続して実施するために、交付額を見直した。また、本事業は高齢者の交通事故防止のために行っている事業であり、運転免許証を返納された方々への支援については今後、関係部署との連携を検討していく。

問 観光振興事業について、シテイセールスとして行っているロケ地誘致を、市内飲食店や直売所などに誘導し、市の財源確保に結びつけているか。

答 作品がより多くの方に見られてヒットすることで、市内の聖地巡礼などの新たな観光地が生まれる可能性があり、そこから市内周遊観光に繋げていければと考えている。

問 公宮児童クラブ運営事業について児童数約300名となる幸房小学校児童クラブの送迎時の安全対策は。

答 児童が放課後、幸房小学校から児童クラブへ移動する際に、小学校から総合体育館前交差点までの間に1名、総合体育館前交差点の両側に1名ずつ、の合計3名の警備員を配置し誘導している。また、児童クラブからも3名程度の職員が在籍児童を迎えに行っている。夏休み期間中には、児童の引き渡しをする朝夕の時間帯に、児童クラブ駐車場周辺に警備員を配置し交通整理等を行っている。

そのほか、図書館子ども読書活動推進事業などについて審議しました。



幸房小学校児童クラブ

《建設水道常任委員会》

問 スマートインターチェンジ整備効果調査業務が終了後、その調査結果は、どのように活用される予定か。

答 調査結果は、国・県及び地元町会等が参加する整



フルインター化されたスマートIC

備効果を検証する地区協議会での資料として活用する。一方で、令和12年における1日あたりの計画交通量は、約4,600台であるが、開通後1か月で1日あたり約6,600台との実績が出ており、利用促進という面で効果は出ていると認識している。

問 道路維持管理事業において、道路に関する市民などからの要望などを一元管理することができる「維持管理システム」を導入することのことが、詳細を。

備効果を検証する地区協議会での資料として活用する。一方で、令和12年における1日あたりの計画交通量は、約4,600台であるが、開通後1か月で1日あたり約6,600台との実績が出ており、利用促進という面で効果は出ていると認識している。

答 これまで、電話などで受付した市民などからの要望は、紙の住宅地図で場所を特定し、その内容を記録し、対応を行ってきた。

今年の夏ごろの運用開始を目指している「維持管理システム」の導入により、要望内容等が地図データに紐づけられ、過去の要望履歴などを瞬時に確認することができると、業務の大きな効率化が見込まれる。

そのほか、道路管理事業などについて審議しました。

討論として、「デマンド交通の導入やコミュニティバスをさらに広げるなど、車がなくても安心して暮らしていけるよう求めることから反対する」などがありました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。

議案第7号 三郷市都市計画税条例 の一部改正について

賛成多数で可決

内容

都市計画税の税率を、現行の「100分の0.15」から「100分の0.3」へ改定するものです。なお、昨今の物価高騰等による市民生活への影響や、直近の都市計画事業の見込みを踏まえ、令和9年度分以降の税率を「100分の0.2」とする特例措置を設けます。

施行期日：令和9年4月1日

議論

問 税率改定の必要性は。

答 扶助費の増加により、一般財源の支出が増えたことで、経常収支比率も100%を超えている現状である。その一方で都市計画事業は継続的に進める必要があることから、事業の目的税としての財源を確保することは重要となる。

反対

固定資産の所有者以外に、賃貸住宅居住者に対しても家賃等の値上げを招くおそれがあり市民の暮らしを直撃する。

賛成

多額な費用を要するインフラ整備や老朽化対応を着実に進めるためには、財源を確保することが重要。税率は市民負担を考慮した引き上げ率となっている。

議案第8号 三郷市国民健康保険税条例 の一部改正について

賛成多数で可決

内容

地方税法の改正に伴い、子ども・子育て支援納付金課税額を規定するとともに、国民健康保険税率等を改正するものです。

改正が必要な理由

- 子育て世帯を社会全体で支えるための「子ども・子育て支援金制度」が令和8年度から新たに設けられることにより、令和8年4月以降、すべての健康保険の保険料から「子ども・子育て支援金」を徴収するため。
- 埼玉県では、現在市町村ごとに異なる国民健康保険税率の統一を目指し、令和9年度に準統一(*)する予定であり、段階的に税率を引き上げることで急激な上昇を避けるため。

*準統一とは、一部項目を除き、県内市町村の国保税率を統一すること。

- 国民健康保険制度の安定的な財政運営のため。

議論

問 子ども・子育て支援金の取り扱いは。

答 都道府県を通じて国に集約された後、市町村の子ども・子育て施策の財源として活用される。

反対

3年連続の引き上げは被保険者の負担が重い。財源を医療保険料に上乗せして賄うことは目的外使用であり認められない。

賛成

本市の保険料負担額は県内で比較的低水準であり、引き上げは統一に向けやむを得ない。

論点

持続可能な財政運営に向け税率を引き上げ

▼3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案がどのように審査されたか、その要旨をお知らせします。

3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

■全議員（議長を除く）が賛成した議案

	号	件名	議決結果
市長提出議案	1	専決処分の承認を求めることについて	原案承認
	2	専決処分の承認を求めることについて	
	3	製造請負変更契約の締結について	原案可決
	4	職員の給与に関する条例等の一部改正について	
	6	みんなの防災プラザみさと設置及び管理条例の制定について	
	9	三郷市介護保険条例の一部改正について	
	10	三郷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正について	
	11	三郷市地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	
	12	三郷市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	
	13	三郷市下水道条例の一部改正について	
	14	三郷市公共下水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について	
	15	三郷市建築基準法の規定に基づく建築物の建築等に係る確認申請手数料等の徴収に関する条例の一部改正について	
	16	三郷市水道事業給水条例の一部改正について	
	17	三郷市火災予防条例の一部改正について	
	18	三郷市児童クラブ設置及び管理条例の一部改正について	
	19	令和7年度三郷市一般会計補正予算（第6号）	
	20	令和7年度三郷市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
25	令和8年度三郷市上水道事業特別会計予算		
26	令和8年度三郷市公共下水道事業特別会計予算		
議員提出議案	27	三郷市議会委員会条例の一部を改正する条例について	
諮問	1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任

■賛否が分かれた議案等

号	件名	議決結果	新政会					21世紀クラブ				公明党			創政MISATO			共産党		無所属			
			武居弘治	佐々木修	宇治由紀子	寺沢美紗	西尾秀貴	沖原優子	竹内嘉洋	渡邊雅人	柳瀬勝彦	菊名吾一	柴田深太郎	鈴木海和	西村寿美枝	桑原洋昭	佐藤裕之	高橋誠一	日高千穂	鈴木優作	工藤智加子	深川智加	紺野伊久子
市長提出議案	5	市長及び副市長の給与等に関する条例及び三郷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
	7	三郷市都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
	8	三郷市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
	21	令和8年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
	22	令和8年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
	23	令和8年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
24	令和8年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	

※このほか、陳情4件がありました。

○…賛成 ×…反対

市政に対する

一般質問

市政に対する監査と政策提案の実現のため、18人の議員が4日間にわたり市政運営全般に対し一般質問を行いました。

※記事掲載は順不同。内容は各議員が要約して執筆しています。
 ※議長（武居弘治議員）、副議長（渡邊雅人議員）、監査委員（鈴木深太郎議員）は、慣例により一般質問を行っておりません。



西村 寿美枝 議員

進路に悩みを抱えている

青少年が相談できる

窓口を！

議員

中学校を卒業し高校へ進学したが「勉強に行き詰まっている」「様々な事情で学校に行きづらい」「中退してしまった」等、学びの道で立ち止まり悩んでいる青少年。あるいは「働く一歩を踏み出せない」「人間関係にうまくいき働け続ける自信がない」等、就労の悩みを抱えている青少年。親や兄弟、友人にも相談しづらく一人で悩んでいるケースも多いのではないだろうか。このような青少年の進路に関する悩みを受け止め、寄り添ってくれる相談窓口について伺う。

生涯学習部長

義務教育終了後に学業を断念せざるを得なかった方や、中途退学となった青少年への「学び直し」支援については、広域的なネットワークを有する埼玉県が主体となり、専門的な相談窓口や自立支援プログラムを展開している。また、青少年課には学校現場での豊富な経験を有する「専門指導員」を配置しており、様々な

機関へ適切につなぐ体制を整えている。

その他の質問

地域振興問題など

篠田 隆彦 議員

三郷ジャンクション

開通40周年を迎えて

インター周辺の

まちづくりについて

議員

三郷市は40年間、高速道路の要衝としての好立地を活かしながら発展を続けてきた。将来を見据え、さらなる利便性向上のため、周辺道路整備を推進し、産業拠点の形成を図るべきと考える。三郷インターチェンジ西側の地区は、今後まちづくりの開発をどのように進める予定なのか。また、その地区を流れる二郷半用水路の「水と緑のネットワーク」を形成する緑道等、水辺空間としての有効活用計画を伺う。

まちづくり推進部長

この地域は、三郷インターチェンジに隣接し、交通便利性などのポテンシャルの高い地域ではあるが、資材置き場をはじめとする土地利用が進んでいるなどの課題がある。今後

は関係地権者の動向や合意形成の状況を見守っていく。二郷半用水路の未整備区間については、先行区間の状況や整備効果を勘案しながら、最適な緑道の整備プランを検討し、貴重な資源である水辺空間の活用による「水と緑のネットワーク」の形成を目指していく。

その他の質問

障がい医療福祉問題など

高橋 誠一 議員

市民に伝わる財政の

見える化を

議員

市の財政運営の見える化について伺う。予算・決算・事業評価を一体的に示し、使途と成果を明確にすることで、市民に分かりやすい財政情報の発信につなげるべきと考える。あわせて、前年比較や市民一人当たりの額の表示などを工夫し、第5次三郷市総合計画後期基本計画の着実な推進に資する仕組みを整え、市民理解と信頼向上、政策改善につなげる取組を求めるとともに、事業の効果や課題がより伝わる示し方について、今後の取組を伺う。

財務部長

当初予算書や決算書の内容を、わかりやすくまとめ広報に掲載している。ホームページでは、新規・拡充事業を含む主要事業、当初予算の概要などを公開し、財政指標も決算カードから確認可能。より分かりやすい情報発信について先進自治体の取組みを研究する。

企画政策部長

総合計画や重点事業などの市政情報について、広報みさとの特集記事やホームページ、SNS等、各ツールの特性を活かし身近でわかりやすい提供に努める。

桑原 洋昭 議員

**社会全体で支える
骨髄ドナー助成制度を！**

議員

白血病などの血液疾患の患者にとって、骨髄移植は命をつなぐ大切な治療法だが、患者とドナーの白血球の型（HLA型）が適合する確率は、数百分の1から数万分の1とも言われている。一方で、提供に至るまでには事前検査や病院、入院など一定期間の対応が必要となり、就労者にとっては、仕事との両立が課題となる場合がある。本市において、ドナー本人へ

の助成だけではなく、勤務先への助成も行うことで、社会全体でドナーを支える体制づくりについて伺う。

いきいき健康部長

ドナーを雇用

する事業所に対する支援は、事業所における休暇制度の導入を進めるための方法の一つであると考えられる。事業所への支援を行う先進自治体の取り組みを含め、情報収集し、ドナーが安心して提供できる環境について効果や課題等の研究をしていく。

その他の質問

障がい者支援問題

鳴海 和美 議員

女性の

**デジタル人材育成の
取組について**

議員

国は「新・女性デジタル人材育成プラン」を策定。育児などで時間の制約がある女性が、デジタルスキルを習得することでキャリアアップ・キャリアチェンジによる所得向上や、在宅や起業など、地域で自分らしい活躍を目指すこととし、全国でeラーニングなどの支援を進めている。三郷市でもこの事業を実施し就労までの支援を

すべきと考えるが市の見解は。

総務部長

現在策定中の第6次男女共同参画プランにおいて、女性のチャレンジ支援として、結婚や

育児等により離職した女性の再就職や起業等、新たな分野に挑戦する女性に向けた相談及び情報提供を通じた支援を位置づけており、市内NPO法人との協働によりパソコン講座を実施し、学びの場スキルアップにつながる機会を提供している。

地域振興部長

本市では年齢、性別を問わず、就労を考えているかたへ向けて、様々な支援に取り組んでおり、就職支援セミナーの通年実施、創業相談会・創業セミナーの開催や、「きらりとひかれ起業家応援事業費補助金」制度などを設け、就労や起業を希望するかたへ向けた様々な支援を行っている。

その他の質問

高齢者支援問題



自宅でのeラーニング
※写真はイメージです

柳瀬 勝彦 議員

**外国籍の方に対する
生活保護の
現状と対応について**

議員

基本的な考えとして国籍にかかわらずルールを守る方に対しては行政サービスを適正に担保される必要があると考える。生活保護制度は本来、真に支援を必要とする方を支える重要な制度であり、その適正な運用が不可欠である。外国籍の方に対する資産状況・就労状況・扶養照会等の確認は、日本国籍の方と同様の基準・頻度で実施されているのか。外国籍住民の増加が見込まれる中、生活保護の適正運用と市民負担の公平性をどのように両立させていくのか伺う。

福祉部長

外国籍の方に対する生活保護制度の適用については、国の通達により、永住、定住等の在留資格を有する外国人について、人道上の観点から、行政措置として、生活保護法の取扱いに準じた保護を行うこととしている。そのため、本市においても国の方針に基づいて適切な制度の運用を行っている。

その他の質問

まちづくりについて

沖原 優子 議員

働く世代の
健康支援と労災予防

議員 労働人口が減少する中、働

く世代が健康で長く働き続けられる環境づくりが重要です。労働者の健康を守ることは企業価値の向上や地域経済の活性化にもつながるとされています。三郷市でも講座や企業へ専門職派遣など取組みを始めています。今後、今後について以下、伺います。

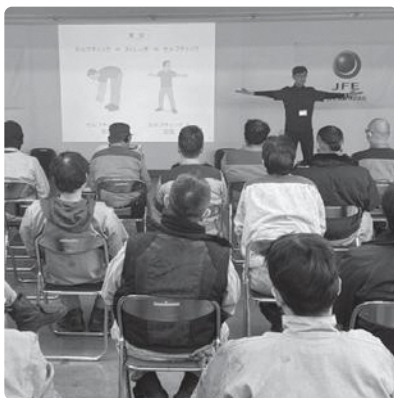
1 労働者への健康支援の現状と課題について。

2 専門職と連携した今後の取組みについて。

いきいき健康部長 令和6年度より開始した「健康日本21(第3次)」

の目標に、企業が成長するうえで積極的に労働者の健康に投資する「健康経営」、働き世代・中小企業への健康支援を強化する「地域・職域連携」の推進が掲げられた。本市では「すこやかみさと」第3期三郷市健康増進・食育推進・自殺対策計画」に基づき、企業と連携した各種健康づくりに取り組

んでいる。市内企業における健康経営認定件数が少ないため、制度の周知・啓発に努める。また、健康づくりに関する出前講座の依頼を町会や企業などから受け、講師として保健師、歯科医師などの専門職を二ーズに合わせ派遣。引き続き内容の充実、「地域・職域連携」の推進に努める。



理学療法士による
企業への健康出前講座

目高千穂 議員

ワクチン接種事業について

議員

各種ワクチン接種事業についてどのような考え方で進めてきたのか。必要性・効果・副反応などリスク情報の説明責任はどのように果たしてきたのか。得られた経験を今後の感染症対策や市民の

健康づくりにどのように活かしていくのか。

いきいき健康部長

公衆衛生の見

地から社会全体を疾病から守るとともに、個人の疾病の発症や重症化予防を目的に実施。「広報みさと」や「健康のしおり」、ホームページの活用や関係部署とともに資料配布と合わせて窓口で丁寧に説明するなど様々な手法で、科学的根拠に基づき情報や、分かりやすい情報の発信に努めてきた。速やかに全庁的な対応が出来るよう、ワクチン接種業務対応職員22名を選任し研修会の実施や、三郷市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定(案)をまとめパブリックコメントの実施、マニュアルの改訂や業務継続計画(BCP)の見直しを行った。

その他の質問

福祉問題

竹内嘉洋 議員

戸ヶ崎地区の路線バスは
長年の課題

議員

1 公共交通政策について

市役所方面に行く路線バスが戸ヶ崎地区をカバー出来ていない

現状があります。課題解決をする為に既存のバス路線を柔軟活用する可能性と今後の展望は。

2 都市間交流事業について

友好都市・姉妹都市との繋がりは大切な関係性で、東日本大震災の際は友好都市の皆さまに支援して頂いたそうです。平時・有事に関わらず、助け合い、互いに尊重し合う交流を続けて頂きたい。

まちづくり推進部長

路線バスの

経路変更は、既存のバス利用者・運行事業者への影響が想定される。戸ヶ崎地区は、4月から新たに運用される三郷市地域公共交通計画で「路線バスの確保とあわせ、その他の移動サービスの導入の検討が必要な地域」と位置付けられている。今後も地域の声を伺い、持続可能な地域公共交通の仕組みづくりに努める。

企画政策部長

令和8年度は長野

県三郷村(現在の安曇野市)、奈良県三郷町との友好都市締結40周年となる。イベント時の特産品紹介、災害時相互応援協定締結等の絆を築いており、さらに強固なものとする。令和7年12月に姉妹都市協定を締結したギリシャ共和国サラミナ市との交流事業を協議中。

工藤 智加子 議員

自転車が安心して走れる
まちづくりを

議員 令和8年4月から青切符が

自転車にも適用される。対象者は16歳以上、対象となる違反行為は113種にのぼる。例えば、反則金は「ながら運転」で1万2千円、信号無視・車道逆走は6千円などである。自転車事故の占める割合は増加、取り締まりが強化されるべきものもあるが、自転車がネガティブな移動手段となつては、自転車活用推進法の理念からも逆効果である。自転車離れが起きないよう丁寧な説明と自転車ナビマークの設置を含めた自転車通行空間の創出に努めなければならぬが、市の見解は。

市民生活部長 国が策定している

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」において、自転車走行空間整備形態の手法の1つとして、自転車と自動車が同一の交通空間を共用する「車道混在型の整備」の中に、自転車ナビマークがある。自動車の交通量や速度、

道路の幅など様々な観点から検討する必要があるため、関係部署と連携し、自転車が安心して通行できるよう努める。また、自転車ナビマークは、車道における自転車の左側通行を明示することを目的としており、警察と協力し、左側通行を含めた自転車の交通ルールの普及啓発に努めていく。

その他の質問 行政問題など



宇治 由紀子 議員

妊婦のワクチン接種に
公正なリスク説明を

議員 遺伝子組換え生物学的製剤

である新型コロナウイルスは、人類史上最大最悪な薬害となり世界では製造禁止の国もあるが、日本では接種が継続されている。さらに国は4月より妊婦に対しRSウイルスワクチンを定期接種として推奨する。厚生労働省の専門部会の資料には、早産や胎児の死亡、新生児の重篤な感染例などが報告

され、米国では早産リスクが提示されるも日本ではされていない。リスクを正しく伝え、接種の判断のために公正な情報を提供する義務が市には求められるが、対応についての見解を。

いきいき健康部長 接種後の副反

応も含め予防接種の詳細な内容を分かりやすく掲載した冊子や案内チラシの配布、ホームページへの掲載などを行っている。また予防接種の案内送付時は、予防する病気やワクチンの効果とともに、副反応などのリスクを記載した説明書を同封。正しい理解のもと接種の判断をしていただけるよう、引き続き情報提供に努める。

鈴木 優作 議員

AI・LINE・防災
テクノロジーと人の力で
三郷市の未来を守る



三郷市
公式LINE

議員 ①AI活用について、守秘

義務や個人情報保護との整合性は図れるのか、ゼロトラストへの移行準備状況、今後の展開はどうか。

②LINE公式アカウントについて、開設からの登録者数の推移と活用拡大策は。③自主防災組織について、補助制度の拡充、担い手の確保などについて伺う。

企画政策部長

①AI・OCRや

音声テキスト化システムなど、AIを活用したシステムを導入。国の通知等では「一定条件下では直ちに個人情報保護法等に抵触しないと考えられるが、十分な注意が必要」とあり、DX人材育成や職員のリテラシー向上を目指した研修を実施。現在は三層分離に則りシステムを運用、今後は国の動きに合わせ適切なネットワークシステムを構築する。②LINE公式アカウントは開設から1年3か月で4,500人が登録。4月からメール配信を終了しLINEへ一元化。公共施設の予約など、さまざまなサービスにつなげるための改善を図る。

危機管理監

③補助制度の拡充は

公平性の観点から慎重な判断が必要であり、先進事例を調査する。三郷市自主防災訓練指導者養成講座では、30年間で約800人のリーダーを養成。若年層・女性の参加促進も視野に入れる。

西尾 秀貴 議員

「日本一の読書のまち」を
さらに広めるために

議員 「日本一の読書のまち」は素晴らしい取り組みだと思います。さらに広めていくために、市独自で本屋大賞のような賞をつくり授賞式を開催したり、「日本一」というからにはデータを見せてください」など色々な動画を作成し動画サイトで発信するなど、今のまじめで熱い部分と、これからの柔軟でおもしろい部分の両輪を回すことでさらに大きくなると考えます。「日本一の読書のまち」を今まで以上に周知していただくための取り組みについて、考えをお聞かせください。

生涯学習部長 読書で得た感動や伝えたいことを絵や文章に込めて家族に伝える「全国家読書コンクール」を開催しており、ホームページでも募集したところ、全国各地から毎年1万通を超える応募がある。また、日本一の読書のまち宣言をきっかけに、協定企業や関係団体との連携につながり、

新たな企画が生まれるなど好循環が生じている。今後についても、関係部署と連携しつつ、本市の読書活動について効果的な情報発信に努めていく。



紺野 伊久子 議員

学校給食費無償化と
有機野菜、地産地消の
自校給食を

議員 市民の長年の願いが実って、小学校の学校給食費の無償化が実現した。こどもたちの成長にとって有機野菜や地産地消の給食食材を使って、安全でおいしい給食を実現するため、自校方式を取り入れてほしい。自校方式は、校内の調理場で温かい給食が提供でき、アレルギー食などより細やかな対応が可能で、食の安全の面か

らもリスクを抑えられる。鷹野学校給食センターの建て替えを機に、小学校から自校方式を実現してほしい。また、小学校に続き、中学校の給食費の無償化を早期に実現してほしい。

学校教育部長

自校方式への移行に関しては、現行のセンター方式が大量調理による効率性や、市内の全校に対し、高い品質の給食を一律に提供できる観点から、引き続き、費用対効果等を勘案し、センター方式による給食を提供していく。また、学校給食の無償化については、国が中心となって一律に対応すべき施策と認識していることから、引き続き、国の動向を注視していく。

その他の質問 後期高齢者医療制度についてなど

柴田 吾一 議員

学校問題解決の
取組について

議員 ①全国におけるSNSでのいじめ動画拡散

- ②保護者からの過剰要求
- ③警察、弁護士との連携

- ④行政型ADRの導入
 - ⑤性犯罪歴データベースの活用
 - ⑥小学校での朝の開門時間変更
- それぞれについて、現状と市教育委員会としての捉え方および今後の対応について。

学校教育部長

①本市でもSNSに関連したトラブルが生じた事案があった。いじめ発見のためのアンケートにSNSの扱いや投稿・拡散に関する項目を新たに加え、未然防止と実態把握の強化に努めている。今後も迅速な事実確認と被害児童生徒の安全確保を最優先とし、関係機関と連携する。②多くは対話の中で解決しているが、丁寧に話を伺い、児童生徒の状況を第一に考えた冷静な対応が重要と考える。校長を中心とした組織的対応を継続。③必要に応じた連携に引き続き積極的に取組む。④令和8年度は学校諸問題解決窓口を設置し、適切な相談・支援体制を構築する。⑤教職員採用時は国が提供する「特定免許状失効者管理システム」による調査が義務付けられており、本市でも活用。⑥開門時間は教職員の勤務時間を踏まえ対応。

その他の質問 庁舎管理など

深川 智加 議員

市内公共施設に

ヒアリンググループの

設置を当たり前に！

議員 ヒアリンググループは補聴器（誘導コイル付き）や専用受信機などと組み合わせることにより、マイクの声などを雑音なく聞き取ることができ、講演会や音楽会などの文化行事を誰もが楽しみ、享受できる仕組みづくりの一つだ。

加齢等で聞こえにくくなり、自宅に引きこもりがちになるケースはめずらしくない。しかしヒアリンググループの設備がある公共施設は一部である。施設にマイクがあるように、あたりまえにあってほしい。見解、導入状況、今後の見通しや周知について伺う。

福祉部長 ヒアリンググループは、聞こえに不安のあるかたが自ら行事に参加する機会が確保されるなど、生活の質を維持するために大変有効なものである。市役所本庁舎1階、健康福祉会館2階及び4階、希望の郷交流センター、ピアラシティ交流センター、文化会館、鷹野文化センターに常備されている。

地域振興部長

ヒアリンググループを常備していない施設については、移動型ヒアリンググループを福祉部や常備している施設から貸出すことで、利用できる体制を整備しており、今後も引き続き、誰もが利用しやすい公共施設づくりに努めていく。

その他の質問

教育問題など

寺沢 美紗 議員

三郷市の

無形民俗文化財について

議員

本市には多様な無形民俗文化財が受け継がれてきましたが、担い手不足や保存会の高齢化により継承が難しくなっています。これは地域の絆を育む大切な文化であり、将来にわたり守り伝えていくためには、市民に広く知っていただき、関心を高めるとともに、担い手の育成が重要です。そこで、本市の現状認識と今後の支援策について伺います。

生涯学習部長

少子高齢化、核家族化などの社会状況や生活形態の変化によりその継承が難しくなっていると認識している。現在、

保存継承されている祭礼行事をより多くの市民に知っていただくため、郷土資料館でのパネル展示や市ホームページで歴史や祭りの様子、道具類などを紹介し、市民の皆様に興味関心を持っていただくよう周知に努めている。市としては、補助金等経済的側面からの支援を継続するとともに、関係団体や関係機関と連携の上、持続可能な継承ができるよう支援に努めていく。



三匹の獅子舞

菊名 裕 議員

第5次総合計画（行政評価）

自治基本条例第18条・

第21条の検証と総括

議員

第5次三郷市総合計画前期基本計画がこの3月に終了する。後期基本計画が4月より実施予定

であるが、自治基本条例第18条・第21条で謳われている行政評価が実施されていない。議会への情報共有も機能しておらず、市民参加は形骸化しており、条例の規定が実質的に守られていない状況と言わざるを得ない。市長は、どの具体的な事実を根拠とし条例に定める説明責任および情報共有が適切に実施されているとの判断か。条例違反との指摘を払拭できるだけの客観的な根拠の証明を求め。

市長

本市は、三郷市自治基本条例に基づき「参加と協働のまちづくり」を推進しており、総合計画や行政評価についても、ホームページ等で広くお知らせするとともに、総合計画策定にあたっては、広報紙での周知のほか、「総合計画。パネル展示」や概要版を作成するなど、わかりやすい「情報の共有」に努めている。引き続き、市民の皆様への情報の共有を心掛け「参加と協働のまちづくり」を推進していく。

その他の質問

人事など



市の花
サツキ

三郷市議会委員会条例が一部改正されました

議員提案により条例改正案（議案第27号）が提出され、全会一致により可決されました。

改正主旨

これまで4つの常任委員会（総務・健康福祉・文教経済・建設水道）で審議等を行ってきましたが、各常任委員会の付託案件数を考慮し、委員会構成の見直しを行った結果、3つの常任委員会へ再編し、各常任委員会の所属、名称及び所管を改めました。

施行日

令和8年3月12日

新しい常任委員会の構成

本会議で上程された予算・条例等の議案や請願などを部門別に審査します。

(◎委員長 ○副委員長)

総務 総合政策、総務、防災、財政、市税、消防など

◎柳 瀬 勝 彦	○西 村 寿美枝	武 居 弘 治
宇 治 由紀子	沖 原 優 子	菊 名 裕
鈴 木 優 作	深 川 智 加	

福祉教育 国民健康保険、介護保険、福祉、子育て支援、学校教育、生涯学習など

◎寺 沢 美 紗	○柴 田 吾 一	竹 内 嘉 洋
鈴 木 深太郎	高 橋 誠 一	日 高 千 穂
工 藤 智加子	篠 田 隆 彦	

建設経済 道路、河川、上下水道、都市計画、公園、市民生活、商工業、農業など

◎鳴 海 和 美	○佐 藤 裕 之	佐々木 修
西 尾 秀 貴	渡 邊 雅 人	桑 原 洋 昭
紺 野 伊久子		

人 事 案 件

人権擁護委員候補者を適任としました。 ④白石 ^{まさこ} 匡子氏（戸ヶ崎三丁目）

▼人権擁護委員とは

市長により推薦され、法務大臣から委嘱を受け、人権相談を受けたり、人権啓発活動を行っています。

他市からの行政視察がありました

○「インクルーシブ公園整備事業」について・・・2月12日に福島県福島市議会 ふくしま市民21

視察研修を行いました

○「創政MISATO」議員・・・1月15日に大阪府枚方市の「ひらかたポイント事業」、16日に大阪府寝屋川市の「寝屋川モデル(いじめゼロに向けたアプローチ)」

○創政MISATO・・・1月19日に「東埼玉資源環境組合 第一工場」、1月28日に鳥取県米子市の「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」、29日に鳥取県日吉津村の「コンパクトシティの取り組み、移住定住の取り組み、及び3D都市モデルの整備」

○21世紀クラブ・・・2月2日に兵庫県加東市の「DX推進委員会ワーキンググループ」、3日に兵庫県明石市の「民間提案制度」、4日に兵庫県西宮市の「本庁舎周辺におけるウォークブルなまちなかづくり」

治水施設の現場視察



三郷排水機場の大型排水ポンプ設備

近年、気候変動により記録的な集中豪雨が発生しやすくなっており、日本各所で甚大な被害が発生しています。こうした状況を踏まえ、三郷市内にある治水施設の役割や重要性を理解するため、3月18日に治水対策の概要説明及び施設の見学会が開催され、議員20名が参加しました。

視 察 場 所

- ①三郷排水機場
- ②大場川伏越し部
- ③大場川上流排水機場
- ④新大場川水門
- ⑤新和調整池

東埼玉消防指令センター

三郷市を含む埼玉県東南部地域の5つの消防本部・局は、令和8年4月1日から、119番通報などを受ける消防指令業務の共同運用を開始しました。運用開始に先立ち、3月25日に議員21名が内覧しました。

視 察 場 所

越谷市大字大泊309番地1
東埼玉消防指令センター

消防



指令台

読者の声 ▶ わたしもひとこと

三郷駅北口・早稲田中央通りにおける植栽の高さの見直しと防犯性向上について

会社員 60代 早稲田在住

三郷駅北口の早稲田中央通りには植栽が整備されていますが、駅から早稲田公園通り入口付近までは高さが低く、見通しが良好です。一方、それより北側では1メートル以上の高さの植栽があり、特に夜間は視界が遮られて不安を感じる状況となっています。植栽の高さを低く整えることで、通行時の見通しが改善され、防犯面の向上にもつながると考えられます。安心して利用できる環境づくりのため、改善を検討すべきです。

交通安全について

パート 60代 さつき平在住

三郷市は、人口減少もあまり無くまだまだ元気で活気のある街なんだな、と思っています。でもそんな中で気になるのは、大型車が住宅街をかなりのスピードで走っていくことです。しかもかなりの頻度で飛ばして行きます。見ていてとても怖いですし、子ども達の登下校の時やのんびりと散歩をするお年寄りが事故にあわないか、とても心配です。昔に比べて確かに増えている気がします。

スピードを出しにくい、でこぼこな舗装を施したり鉄のポールを立てたりなどを施して貰いたいです。交通取り締まりや規制も頑張ってもらいたいと思います。

議会を傍聴しませんか

令和8年6月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
6/1	月	本会議 (議案説明・質疑など)
6/3	水	
6/4	木	委員会
6/9	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
6/10	水	
6/11	木	
6/12	金	

※正式には市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

傍聴の際に手話通訳、要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局へお申し込みください。

議会中継

本会議のライブ中継は市議会ホームページで視聴できます。録画映像は、おおむね1週間後から視聴可能です。

インターネット映像配信▶



会議録

会議録は、市議会ホームページから閲覧できます。3月定例会の会議録は6月頃に更新する予定です。

市役所内の市政情報コーナー、図書館などでも会議録(冊子)の閲覧ができます。

